



1-イ 過疎地域等における小型無人機を使用した配送実用化推進事業

事業目的・概要等

背景・目的

- 小型無人機（いわゆるドローン等）による荷物配送は、小口輸送において積載率の低いトラック輸送に代わる輸送手段として期待されている。
- 特に、過疎地域等では、少子高齢化や人口減少に伴い、地域内荷量が減少し、積載率の低いトラックによる非効率な輸送が行われている。
- このため、過疎地域等における小型無人機を使用した荷物配送の早期の実用化を図ることにより、非効率なトラック輸送を減少させ、CO2排出量の大幅削減を目指す。

事業概要

- 過疎地域等における小口輸送を代替しCO2排出量を抑える小型無人機を使用した荷物配送の実用化を推進するため、現在研究開発を進めているドローンポートシステム等を活用した一連の荷物配送モデルを検討し、その実証を行う。

事業スキーム

- 委託対象：民間事業者等
- 実施期間：平成30年度

期待される効果

- 過疎地域等における小型無人機を使用した荷物配送を実現し、トラック輸送に代替することでCO2排出量を大幅削減するとともに、トラックドライバー不足、買物難民対策等に貢献する。

イメージ

平成29年度末

- 物流用ドローンポートシステムの研究開発【国土交通省】
- 無人航空機の「性能評価基準」の策定【経済産業省】

平成30年春頃

- 航空法に基づく「無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領」の改訂【国土交通省】

平成30年度

- 過疎地域等における小型無人機を使用した配送実用化推進事業【環境省・国土交通省連携事業】

※小型無人機について、来年には山間部などニーズの見込まれる地域で荷物配送を実施し、2020年代には人口密度の高い都市でも安全な荷物配送を本格化させるため、補助者を配置しない目視外飛行や第三者上空飛行など高度な飛行を可能とするための技術開発と制度的対応を進める。
(未来投資戦略2017)

過疎地域等における小型無人機を使用した荷物輸送



小型無人機



ドローンポートイメージ

